

inseaでアルコールではなく次亜塩素酸水を使用する理由

Q : なぜ微酸性次亜塩素酸水を使用するのですか？

A : アルコールに比べて沢山の種類の菌・ウイルスに効いて、人体にも安全な物だからです。











ウイルス・菌と言っても沢山の種類（コロナ、ノロ、インフル、サース、A・B・C型肝炎、HIVウイルス、大腸菌、レジオネラ属菌等々…）がありますが、アルコールは全ての菌に対し、有効ではありません。しかし、微酸性次亜塩素酸水（マグマのちから）は、アルコールより広いウイルスや菌に有効である事が認められています。アレルギー反応もアルコールに比べて少なく、身体に負担をかけずに安全に生体防衛できる微酸性次亜塩素酸水（マグマのちから）をinseaで店頭使用しています。

マグマのちからは
素肌と同じ弱酸性値
pH5.5

だから…
アルコールの様に肌荒れをおこしません！

菌やウイルスは人が持ち込みます。
店舗入口に設置してある除菌マット、
入館時の手指除菌を
微酸性次亜塩素酸水で
しっかり行うことで「持ち込み」を
最小限に防ぐ事ができるためです！

また、
空間浮遊、付着したウイルス・菌は、
光触媒発生装置やマグマのちからの
空間噴霧によって、分解されます。

	マグマのちから	アルコール
除菌・消臭力	 次亜塩素酸ナトリウムの80倍の除菌力！！	 ノロウイルスには効かない。
安全性	 人体に害無し。食品添加物として使われることも！	 刺激性が強いため肌荒れを起こす原因に。アレルギーの危険も有り。
残留性	 除菌後は水になるので、残留しない。	 揮発性が高いため残留しない。
ニオイ	 少し塩素のようなニオイがする。	 強いアルコール臭がする。
可燃性	 燃える事はないので火器が近くに有ってもOK！	 燃えやすい。火気厳禁。
ph 塩素濃度	50ppm (±1.5) pH5.5 (±0.5)	塩素は含まれず 76.9~81.4v/v%